

ワークショップ課程プログラム

第1講 5/16 (火) 13:00~17:00	<p>カウンセリング・傾聴法入門</p> <p>講師：丹治光浩（花園大学教授・前学長）</p> <p>生老病死という現実、釈尊の生きた時代から、逃れられない課題として私たちの前に横たわっています。そこから生じるあらゆる「苦」に対して仏教者は、学んだみ教えや修行等の実践をどのように生かしていったらよいのでしょうか。臨床心理の概念と技法を踏まえつつ、仏教的なケアの手法の一つである「傾聴」について学び、カウンセリングを行うための基礎を理解していきます。</p>
第2講 5/31 (水) 13:00~17:00	<p>内観法</p> <p>講師：千石真理（臨仏研特任研究員・心身めざめ内観センター主宰）</p> <p>現場での実践にあたり、仏教者としての自分自身を見つめ直してみましょう。相手の立場になって自身を見つめ、「事実」を省察することで、仏教的なアイデンティティの再構築をはかります。これまでの自分と、これからの自分——両者の橋渡しを行いながら、仏教者として社会に関わる土台作りを行い、実践に生かしていきます。</p>
第3講 6/13 (火) 13:00~17:00	<p>生と死のプロセスワーク&マインドフルネス瞑想</p> <p>講師：神 仁（臨仏研研究主幹・東京慈恵会医科大学附属病院SCW）</p> <p>あなたが大切にしているものは何ですか？そして、こころの重荷となっていることは——。他者へのケアを目指すには、まずは自分自身のこころの棚卸しが不可欠です。ワークの実施を通じて、失われゆく人生を疑似体験しながらこころの深層を見つめます。また、マインドフル瞑想を通じて自己を客観的に見つめ、平常心を保ちながらケアにあたる方法を学びます。</p>
第4講 6/27 (火) 13:00~17:00	<p>苦集滅道（四諦）ワークショップ</p> <p>講師：ジョナサン・ワッツ（臨仏研上席研究員・慶応大学講師）</p> <p>釈尊が説かれた四つの聖なる真理、苦諦・集諦・滅諦・道諦。仏教的な視点にたつて社会の現状を見つめることで、人々が苦しむ問題の根源とその構造を可視化し、解決するための糸口をつかみます。さらに、問題解決に向けてどのように日々の実践を続けていくべきか、自分自身に問いかけなおす機会としていただきます。</p>
第5講 7/11 (火) 13:00~17:00	<p>グリーンケア</p> <p>講師：西岡秀爾（臨仏研特任研究員・国際禅学研究所客員研究員）</p> <p>かけがえのない人や大切なものを失う時に経験する感情、悲嘆・グリーフ。私たちは、つらい気持ちを抱える方にどのように関わり、向き合っていくべきなのでしょう。そしてマニュアルのない状況にあって、宗教者が陥りやすい罠とは——。「答えのない問い」に答え、悲嘆からの回復のプロセスとケアのあり方について学び、実践していきます。</p>

第6講 7/25 (火) 13:00~17:00	<p>インターフェイス・チャプレンシー</p> <p>講師：高木慶子（上智大学グリーンケア研究所名誉所長・臨仏研Advisor）</p> <p>社会構造が目まぐるしく変化する昨今、人々の悩みや苦しみの様相も刻々と変化しています。加えて、さまざまな宗教や宗派、人種、生活階層など、異なる宗教や文化を持つ方々をケアする機会も今後一層増えていくことでしょう。本講では仏教者としての「信」の確立を目指しながらも、自己の宗教にとらわれない普遍的な視点でのケアの実践法を学びます。</p>
第7講 8/22 (火) 13:00~17:00	<p>いのちのケア&スピリチュアルケア—方法論と実践</p> <p>講師：窪寺俊之（兵庫大学大学院特任教授・臨仏研Advisor）</p> <p>欧米のキリスト者を中心に実践されてきたスピリチュアルケア。本講座では、スピリチュアルケアを日本人の精神文化風土に合わせて「いのちのケア」と読み替え、その具体的なケアの方法論と実践について学びます。また、一人ひとりの痛みについてのアセスメントの方法や事例検討も行っています。</p>
第8講 9/12 (火) 13:00~17:00	<p>コミュニケーション・トレーニング&ロールプレイング①</p> <p>講師：吉水岳彦（臨仏研上席研究員・淑徳大学講師）</p> <p>あらゆる場面で交わされる言葉や身振り、表情でのコンタクト——。そのなかから相手の真意を汲み取り、自らも意思伝えるために必要なコミュニケーションの技法を理解していきます。また、これまでの講座内容で得た知識と経験をもとに、現場での実際のやり取りを想定した研修を、参加者同士によるロールプレイ形式で行っていきます。</p>
第9講 9/26 (火) 13:00~17:00	<p>ターミナルケア&セルフケア・チームケア</p> <p>講師：大河内大博（臨仏研特任研究員・さとさんが願生寺共同代表）</p> <p>終末期の患者さんには、こころの苦痛をできる限り和らげ、尊厳をもっていのちを全うしていただくための支援が求められます。宗教離れの進む日本において、どのような点に留意しながら仏教者としてケアにあたる必要があるのでしょうか。看取りの実践に向けた具体的な心構えとスキルを学びます。また、自身が燃え尽きてしまわないために、自己の内面への向き合い方を理解すると共に、ケア対象者に対するチームとしての支援のあり方を学びます。</p>
第10講 10/11 (水) 13:00~17:00	<p>トラウマケア&ロールプレイング②</p> <p>講師：神 仁（臨仏研研究主幹・東京慈恵会医科大学附属病院SCW）</p> <p>いじめや虐待、自然災害など、さまざまな要因によって引き起こされるトラウマ（心的外傷）についての理解を深め、トラウマを抱えた方へのケアの要点を学びます。そして、参加者同士によるロールプレイの実施を通じて、自身の発した言葉や行動を具体的に振り返り、現場において同様の場面に遭遇した場合の適応能力を高めていきます。</p>